

消滅可能性都市の汚名返上!!

～大発展か消滅か 今、決断の時!～

県域水道一体化学業

県内28市町村で

唯一、不参加の大和郡山市の将来
水道事業「市の単独経営」が本当に
市民のための決断でしょうか!?



きたもん ゆう き
北門 勇気

PROFILE

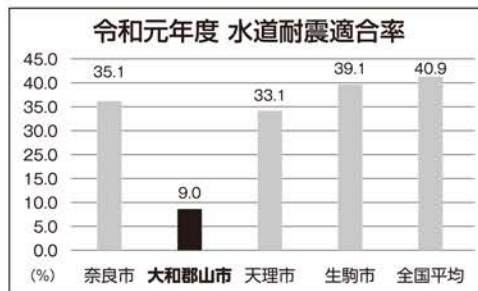
■生年月日 昭和55年12月13日(40歳)
■市議会経歴
平成23年4月 大和郡山市議会 初当選
平成27年5月～平成29年5月
大和郡山市議会 副議長
平成29年6月 大和郡山市長選挙 出馬

現在の大和郡山市が抱える問題

1 基幹的な水道管の耐震適合率は9%のみ (R1年度全国平均40.9%)

多額の保有資金を有していたにもかかわらず、耐震整備がほとんど進んでいないのはなぜ。

阪神・淡路大震災以降、他の市町村は耐震管の配備を進めています。災害時、水は一番大切なライフラインです。



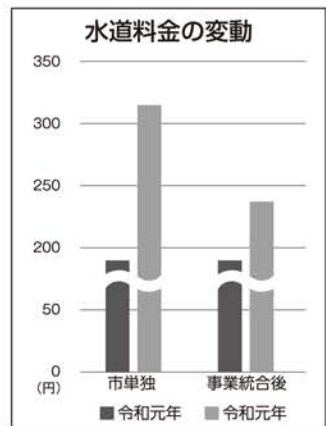
厚生労働省
報道発表資料参照

2 北郡山浄水場の老朽化 (更新予定時期はR8年に迫っています)

県域水道一体化学業への不参加による、市単独水道事業経営は

将来、必ず市民に大きな負担がかかります!!

供給単価は市単独経営の場合、現在の188円/m³が、令和30年には314円/m³になり、60%値上がりすると試算されています。現在の82億円の保有資金も、施設などの更新需要の増大に伴い残高は大きく減少し続けることが想定されます。 (水道サミットメイン資料より)



水道サミットメイン資料参照

将来のために、県域水道一体化学業に参加すべき!!

統合された場合も、 本市の水道施設整備計画は尊重されます

本市の保有資金82億円については、統合後本市の水道事業計画において有効活用されます。
以下、「水道事業等の統合に関する基本方針」より抜粋

企業団は、水道水の安定供給に必要な施設更新について、関係団体の更新実績(※)を保証し、又は各関係団体の水道施設整備計画を尊重するものとする。

※更新実績の考え方:更新実績については、対象施設、実績年数、管路延長、投資額、実績等、考慮すべき事項が多い。これらについては、今後、協議のうえ定めていくものとする。



北門勇気の考え

県営水道一体化事業に参加をしない場合、市民への負担が大きくなることは明白です。奈良県は多くの自己資金をもって参加した場合でもその市に損がないように水道事業を行っていくと方針を出しています。

さらには、国からも県域水道一体化事業に対して約400億円の交付金が投入されることになってます。

2020年、コロナがこれほどまでに感染拡大し、私たちの生活に大きな影響を与えたとはいえ、これも予期できませんでした。このような予期せぬ事態や、大きな災害は、いつ何時起こるかわかりません。しかし、大きな災害が発生した場合に備え、人が生きる上で一番大切なライフラインである「水」は、市単独ではなく、県、国から保証された事業として確保されるべきだと考えています。

参考資料 市町村間の格差の現状分析(現金・預金の保有額と投資需要額の分析) 水道サミットメイン資料より抜粋

| 奈良市 | |
|--|----------------------------|
| 今後の投資需要額及び財源(R1~R30累計) | |
| ●財源SIMIによる供給単価の推移 | |
| 供給単価(単独経営時) | R1 183円 → R30 258円 |
| ●投資需要額及び財源(R1~R30累計) (百万円) | |
| 資本的支出(建設改良費、既償元金償還金) | 116,574 |
| 財源 | |
| 損益勘定留保資金(減価償却費+資産減耗費-長期前受金戻入) | 81,640 |
| 資本的収入(負担金・分担金) | 15,550 |
| 純利益 | 14,361 |
| 補てん財源不足額 | 5,021 |
| ※各市町村から提出された投資需要額に基づき試算 ※新規企業及び新規企業債に係る元金償還・利息は見込まずに算出。 | |
| ●補てん財源不足額を自己資金で充当した場合の現金・預金推移 | |
| 現金・預金 | H30 67億円 → R30 17億円 |
| R31以降も投資は続き、更なる資金の減少が想定される | |
| ⇒今後の更新需要増大に伴い、資金期末残高が大きく減少。 | |
| ●事業統合した場合、下記の通り、単独経営時より料金を抑制可能。 | |
| 供給単価(統合時) | R1 183円 → R30 235円 |

| 大和郡山市 | |
|--|----------------------------|
| 今後の投資需要額及び財源(R1~R30累計) | |
| ●財源SIMIによる供給単価の推移 | |
| 供給単価(単独経営時) | R1 188円 → R30 314円 |
| ●投資需要額及び財源(R1~R30累計) (百万円) | |
| 資本的支出(建設改良費、既償元金償還金) | 28,631 |
| 財源 | |
| 損益勘定留保資金(減価償却費+資産減耗費-長期前受金戻入) | 13,325 |
| 資本的収入(負担金・分担金) | 3,600 |
| 純利益 | 5,448 |
| 補てん財源不足額 | 6,257 |
| ※各市町村から提出された投資需要額に基づき試算 ※新規企業及び新規企業債に係る元金償還・利息は見込まずに算出。 | |
| ●補てん財源不足額を自己資金で充当した場合の残高推移 | |
| 現金・預金 | H30 82億円 → R30 20億円 |
| R31以降も投資は続き、更なる資金の減少が想定される | |
| ⇒今後の更新需要増大に伴い、資金期末残高が大きく減少。 | |
| ●事業統合した場合、下記の通り、単独経営時より料金を抑制可能。 | |
| 供給単価(統合時) | R1 183円 → R30 235円 |

大和郡山の未来をひらく会からのお知らせ

只今、新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために活動を休止しておりますが、引き続きボランティア募集中です。

ボランティア募集 — 月1回の子ども食堂 —

場所：西田中町ふれあいセンター
お問い合わせ：y.miraiwohirakukai@gmail.com
080-3843-6876(子ども食堂)

きたもん勇気後援会

<https://ymiraiwohirakukai.wixsite.com/mysite>

大和郡山市横田町47-2
会長 米山 定男

